



P T B
Pachinko Trusty Board

PTB Quarterly Report

February , 2012 ★ Vol. 3



一般社団法人パチンコ・トラスティ・ボード

〒104-0061 東京都中央区銀座 1-14-4 プレリー銀座ビル 5F

TEL/03-3538-0091 FAX/03-3538-0094

URL : <http://www.ptb.or.jp> E-mail : info@prb.or.jp

事務局 丸山 正博



★NHKが女性のパチンコ依存についての番組を放送★

2011年11月21日「あさいち」 『主婦がはまる!? ギャンブル依存』

2011年12月27日「追跡! 真相ファイル」 『パチンコにはまる女たち』

12月27日(火)

午後10:55～11:23

パチンコにハマる女たち

市場規模 19.4 兆円。参加人口 1670 万人。

圧倒的な存在感で君臨する“娯楽の王様”。それが『パチンコ』だ。

およそ 60 年前、庶民の娯楽として始まった『パチンコ』。

いまや、パチンコ台はITを駆使した高性能マシンに姿を変え、さらに女性の集客を見込んで全館禁煙のホールが登場するなど、従来の「暗い」「汚い」といったイメージは様変わりしている。

しかし、ストレス解消や余暇として楽しむ人がある一方、パチンコにのめりこみ、問題を抱えるケースも少なくない。

パチンコをする金欲しさに消費者金融に手を出したり、たび重なる家族からの忠告に耳を貸さず、離婚や一家離散にいたる事態も起きている。

さらに最近、注目されるのが、女性の依存症だ。

去年、厚労省が発表した統計によると、女性のギャンブル依存患者は推計75万人。

そのほとんどを、パチンコとパチスロが占めるとみられる。そこで、ギャンブル依存に悩む女性の回復を支援する施設や、パチンコ業界が自ら進める依存症対策などを取材。

さらに、ギャンブル依存症の急増が社会問題となり、国を挙げて対策に取り組む韓国の事情を通して、私たちの社会がこれから『パチンコ』とどうつきあっていくべきかを考える。



NHK 「追跡! 真相ファイル」HPより

PTBでは、1月18日開催の「評価委員会」で、録画した「追跡! 真相ファイル」『パチンコにはまる女たち』を上映いたしました。

出席委員・社員会社担当者等の感想は、

- ・ マスコミの視点というのはこういうことだとわかった。
- ・ (パチンコを)バッシングするでもなく批判するでもなくNHKらしい番組だと思った。
- ・ もし「パチンコ」を全面的に禁止しても、また同じようなものが出てくる。結局、原因はほかにあるということ。
- ・ 社会とつながって自分の存在を確認したい、お金が欲しい等は普通の感情。何故、人が何かに依存してしまうのか?それはパチンコを止めれば解決する問題ではない。ひとつのきっかけになっている可能性があるなら、そのひずみをどう回避出来る仕組みを作れるのか?
- ・ 5号機になる前に4号機の一番ひどかったときにこれをもっとやっておかないで、どうしていまさらやるのか?
- ・ ほかのギャンブルでも依存問題はある、なぜ、「パチンコ」だけがとりあげられるのか?
- ・ 業界側としては、精神科医の先生方がこの問題を正確に取り上げていく仕組みを、もっと支援してきちんとした報告を社会に対して出来るようにするというのが大事だと思う。
- ・ **女性のパチンコ依存「75万人」*1** いるという数字のカウントの仕方はどういうカウントをしたのか?
- ・ 沖縄のリハビリサポート・ネットワーク(以下RSN)*2 代表の西村さんが業界からの支援で、電話相談をやってきていて 5,000 事例くらいの記録がある。沖縄だけでなく東京に相談センターを作ったり、更に医者立場からもっときちんと調査して社会に発表していただく、そしてそれに対し業界はどう支援が出来るのか?をもっと考えていべき。
- ・ 個人情報とかプライベートの問題があるのでなかなかできないと思うが、いわゆるホール側が「入店拒否」のようなこととかの工夫をもっと全体的に盛り上げながらやっていかないといけないと思う。

TOPICS

- ・ もともと依存の問題はいろいろな依存の人がいるがその根本はその人の心の問題で、それが「依存症」と言われるのは、借金問題とか誰かを傷つけたとか問題行動になったときに表出してくる。「依存問題」というのはもっと違うところに根本があり、いま「パチンコ」というのは取り上げ易い問題なので、取り上げられても仕方ないと思うが、もう少し依存そのものの問題について、きちんと取り組んでいただきたいと感じた。
- ・ 感じとしては「アンチパチンコ」と受け止めた。
- ・ 宝くじ、競馬、競輪・・・たくさんあるなかで何故パチンコ、パチンコとなるのか？逆に言うと、それだけパチンコが大衆レジャーとしての位置づけが高いから。それだけ身近になっているということ。そういう意味で、うまく、楽しくつき合ってもらえるようなパチンコに出来るように業界を持っていけるといいと思う。
- ・ 昔と違ってたくさんの方のストレスを抱えている今の時代にパチンコとかそういうはけ口がなかったらどうになってしまうのか？パチンコは大衆娯楽という素晴らしい役割を果たしている。ただごく一部で問題のある方がいらっしゃるかもしれないが、それはその方のご事情であって、それをこの業界をバッシングというのはおかしい。むしろ大多数の方は楽しんで日常生活のストレスをパチンコをやることによって、また新しい力をもらって明日に向かっていくということのほうが大きいのではないかと思う。
- ・ 「依存問題」というのは社会問題だと捉えられている。パチンコが無くなればこの問題が無くなるわけではない。映像の中でも、「ひとりで寂しい」それでそこに人がいるという場所に行こうという事でもって、自分の寂しさとバランスを取っているのではないかと？そういう意味で、社会問題としても依存問題という事を考える必要があるし、逆に、パチンコがそういう意味で地域の一つのコミュニティの場所になっている。そういう意味で、そこに求めているものを、主体的な立場から言うと、まさにそういうコミュニティの場であるパチンコ店をどんどん追求して行くというのが、こちら側の責務ではないかと思う。

*1 「ギャンブル依存症の女性はおよそ75万人」の根拠をNHKでは

2010年、厚生労働省の発表によると、成人女性の1.6パーセントがギャンブル依存症であることが分かりました。成人女性の人口はおよそ5,400万人なので、換算すると75万人になります。また、あさイチのアンケートによると、自ら「ギャンブル依存である」と回答した女性は、1,766人中、157人いました。その8割はパチンコ・パチスロにハマっていることが分かりました。

《女性のギャンブル依存157人》

・パチンコ、パチスロ・・・148人

・宝くじ・・・10人

・競馬、競輪・・・5人

(あさイチアンケート1,766人回答)

NHK「あさイチ」HPより

*2 特定非営利活動法人 ぱちんこ依存問題相談機関 リカバリーサポート・ネットワーク

<http://rsn-sakura.jp/>

リカバリーサポート・ネットワークとは？

リカバリーサポート・ネットワークは、パチンコ・パチスロの遊技に関する依存及び依存関連問題解決の支援を行うことを目的に設立された非営利の相談機関です。

人が生きていくには、娯楽が必要です。世界のいかなる地域でも、いつの時代でも人は、「日々の生活の中で楽しむこと」を見つけ出し、創造し、生活の糧としてきました。娯楽は、創造性と優しさを併せ持つ生きるための知恵です。

しかし、残念ながら借金や失業などの経済問題、育児放棄や家庭内暴力などの虐待・暴力問題、依存や抑うつ、自殺などの精神医学的問題、借金などを契機に引き起こされる犯罪などがパチンコの周囲で起き社会問題となっています。子どももの放置死や熱中死など、幼い命が大人の娯楽の代償として奪われる痛ましい事件も繰り返されています。

これらの現状の中で、私たちは、問題の背景の一つである、パチンコへの過度ののめりこみ（パチンコ依存問題）に焦点を当て、早期介入のシステムを作る必要を提唱し、電話相談による早期介入と問題からの回復支援を目指して活動をおこなっています。

リカバリーサポート・ネットワークHPより

